

目 次

序 文	iii
ドリル使用に際しての助言	iv
1. 文（20字以下程度）を読んで質問に「はい」「いいえ」で答える	1
2. 文（20字以下程度）を読んで質問に答える	11
3. 文（40字程度）を読んで質問に答える	21
4. 文（50～100字程度）を読んで質問に答える	31
5. 文（120字程度）を読んで質問に答える	63
付 録A 本ドリル集で使用した絵の語彙 （名詞・動詞・形容詞）リスト	83
付 録B ドリル・シリーズの構成	91

氏名		年 月 日
----	--	-------

つぎの質問に、「はい」なら○、「いいえ」なら×を（ ）
の中につけてください。→ _____ で示した欄は応用訓練で
使います。

解答例 鉛筆は電気屋さんで売っていますか（ × ）

→ _____

(1) 地球は丸いですか（ ）

→ _____

(2) 桜が咲くのは秋ですか（ ）

→ _____

(3) 雪は夏に降りますか（ ）

→ _____

(4) 御飯を食べる時は「いただきます」と言いますか（ ）

→ _____

(5) コーヒーに塩を入れますか（ ）

→ _____

(6) 朝のあいさつは「こんばんは」ですか（ ）

→ _____

氏名		年 月 日
----	--	-------

つぎの文を読み、あとの質問の答を言ってください。
 _____で示した欄は応用訓練で使います。

解答例

赤い鉛筆で間違いを直す。

→間違いをどうするのですか： _____ 直す _____

どんな鉛筆ですか： _____ 赤い _____

何を直すのですか： _____ 間違い _____

何で直すのですか： _____ 鉛筆 _____

(1)

ビルの屋上から風船を飛ばす。

→風船をどうするのですか： _____

ビルのどこからですか： _____

何を飛ばすのですか： _____

どこの屋上からですか： _____

(2)

手当が早かったので命をとりとめた。

→命をどうしたのですか： _____

何が早かったのですか： _____

何をとりとめたのですか： _____

手当はどうだったのですか： _____

氏名		年	月	日
----	--	---	---	---

つぎの文章を読み、あとの質問に答えてください。

あくびは一般に緊張感がない時に出やすい。それ ① がない時、人は眠くなってくる。眠くなると呼吸の働きが鈍くなり、だんだん酸素が不足してくる。そこで大きな息をして、それ ② を取り込もうとする。これがあくびであり、あくびの一番の働きである。同時に、下あごなどの筋肉が引っ張られるので、それら ③ の筋肉の動きが脳に刺激を与え、目覚めさせようとするのである。

問1：あくびは一般にどんな時に出やすいですか。

答：

問2：あくびの一番の働きはなんですか。

答：

問3：あくびのもう一つの働きは何ですか。

答：

問4：緊張感がない時、人はどうなりますか。

答：

問5：それ ①、それ ②、それら ③ は何をさしますか。

答：①

②

③